

目 次（担当別）

農業情報研究室

	開始	終了
IoPクラウド(SAWACHI)に蓄積されるデータ解析によるデータ駆動型農業の実践支援	R6	～
IoP営農支援システムの構築	R5	～
施設園芸における温室効果ガス (GHGs) 排出量低減のための施肥技術およびGX評価システムの開発	R5	R8

病理担当

植物病害の発生予測技術の開発	R5	R8
露地ショウガの貯蔵中に発生する根茎暗斑病、紅色根茎腐敗病の防除対策	R6	R8
施設果菜類における有機栽培技術の開発	R6	R8
施設ミョウガにおける安定的な種根茎確保技術の確立	R7	R9
中山間傾斜茶園における有機栽培技術の確立	R5	R9

昆虫担当

土着天敵を基幹とした施設ピーマンのナスコナカイガラムシの防除体系の確立	R7	R8
ニラフシダニ(仮称)の発生生態の解明と防除対策の確立	R7	R9
施設果菜類における有機栽培技術の開発	R6	R8
中山間傾斜茶園における有機栽培技術の確立	R5	R9

発生予察担当

土壌肥料担当

施設園芸における温室効果ガス (GHGs) 排出量低減のための施肥技術およびGX評価システムの開発	R5	R8
施設果菜類における有機栽培技術の開発	R6	R8
中山間傾斜茶園における有機栽培技術の確立	R5	R9

農薬・品質管理担当

品目転換ニラへの後作物残留リスク解明	R7	R8
ぶしゅかんの機能性成分の解明	R7	R8
シントウ・ミョウガの省力的な小袋包装技術の開発	R7	R8
耐低温性非辛みシントウ育成と機能性成分評価	R4	R8
施設ミョウガにおける安定的な種根茎確保技術の確立	R7	R9

園芸育種担当

耐低温性非辛みシントウ育成と機能性成分評価	R4	R8
低温下で単為結果性を有する高収量・高品質ナス系統の育成	R5	R8
耐低温性ピーマン系統の育成	R6	R9
高知ナス品種育成のための育種素材の開発	H27	～
先進的なニーズを捉えた野菜、花きの中間母本の育成	H23	～

水田作物担当	開始	終了
酒造適性、栽培特性に優れる酒造原料用米品種の育成	R4	R8
多収品種の適応性評価および育成	R7	R10
除草剤および生育調節剤の効果検定試験	S48	～
社会ニーズに対応した水稻系統の育成	H27	～
水稻の気象感応試験	S47	～

先端生産システム担当

ニラ葉先枯れ発生予測技術の開発	R6	R8
生体情報を活用した促成ビーマンの省エネ温度管理技術の開発	R6	R8
ハウスキュウリの作型変更およびガスヒートポンプ (GHP) 利用による 加温由来炭酸ガスの排出削減技術の開発	R7	R8
単為結果性ナス品種に適した省エネ型温度管理技術の開発	R7	R9
ハウスキュウリ栽培における光合成情報を活用した効率的エネルギー利用技術の開発	R7	R9
IoPクラウド (SAWACHI) に蓄積されるデータ解析によるデータ駆動型農業の実践支援	R6	～
IoP営農支援システムの構築	R5	～

花き担当

主要な施設花き品目における新品種の特性把握および有望な花き品目の探索	H28	～
長期開花系統を用いたライスフラワーの安定生産技術の確立	R6	R9
先進的なニーズを捉えた野菜、花きの中間母本の育成	H23	～
ユリの収穫日予測技術の確立	R7	R9

果樹試験場

施設カンキツにおける統合環境制御技術の体系化および自動化	R4	R8
有機栽培での加工仕向け用ユズの安定多収技術の開発	R7	R9
カンキツ新品種等の本県への適応性および特産カンキツの育種に関する研究	H24	～
温暖化に対応できる落葉果樹類の育種に関する研究	H19	～
無核性ブンタンの鮮度保持および高品質果実安定生産技術の開発	R7	R10
遺伝的変異の少ないニホンナシ台木生産技術の開発	R5	R8
生育調節剤および除草剤に関する研究	H5	～
新規課題化対応予備試験	H19	～
果樹研究協議会等に関する支援	H19	～

茶業試験場

中山間傾斜地茶園における低コスト省力化施肥体系の確立	R8	R12
中山間傾斜地茶園における省力的な台切り法および改植法の開発	R8	R12
茶の新農業に関する試験	S50	～
茶樹系統適応性検定試験	S56	～
技術相談対応・現地栽培支援	H30	～
中山間傾斜茶園における有機栽培技術の確立	R5	R9

共 通

開始 終了

病害虫に対する新農薬の効果検定試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・	S60	～
突発性病害虫、生育障害等の原因究明と対策・・・・・・・・・・・・・・・・	H11	～